

製品名: N カドヘリン (6M5) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe14363**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,FC,IP |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。 |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000, FC 1:50-1:200, IP 1:20-1:50 |
| 分子量 | 100kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | CDH2 |
| 別名 | CADH2; CDHN; Cadherin-2; N-cad; N-cadherin; NCAD; Neural-cadherin precursor; cadherin; neural; |
| 遺伝子 ID | 1000.0 |
| SwissProt ID | P19022 |
| 免疫原 | ヒト N カドヘリンの組み換えタンパク質 |

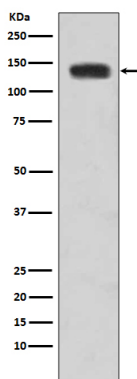
背景

カドヘリンはカルシウム依存性細胞接着タンパク質である。細胞同士を繋ぐ際に、カドヘリンは同種親和的に相互作用することを優先するため、カドヘリンは異種細胞タイプの選別に寄与する可能性がある。CDH2 は神経細胞の認識機構に関与している可能性がある。海馬ニューロンでは、樹状突起棘密度を調節する可能性がある。カルシウム依存性細胞接着タンパク質。他の細胞の CDH2 鎖と二量体を形成することで、同種細胞間接着を優先的に媒介する。カドヘリンは異種細胞タイプの選別に寄与する可能性がある。成体上衣下層における上衣細胞への神経幹細胞の固定を媒介することにより、神経幹細胞の静止の調節因子として機能する。MMP24 による切断により、CDH2 媒介固定が影響を受け、神経幹細胞の静止が調整される。膵 β 細胞と神経堤幹 (NCS) 細胞間の細胞間接合形成に関与し、NCS 細胞による突起形成を促進する (類似性に基づく)。CDH2 は神経認識機構に関与している可能性がある。海馬ニューロンでは、樹状突起棘の密度を調節する可能性がある。

研究分野

細胞生物学

画像データ



HeLa 細胞溶解物における N-カドヘリン発現のウェスタン プロット分析。